

2017.6.7
江ノ島フリート 村岸

5/27(土)アーリーサマーレガッタ練習会メモ

1. スケジュール：

- 日時：5月27日(土) 10:00~20:30
 - 10:00~11:30 ルール講習会 *クラブハウス 1階B会議室
 - 11:30~12:00 出艇準備
 - 12:45~14:30 海上練習(帆走、マークラウンディング、コース練習)
 - 18:00~20:30 懇親会、海上ビデオ映像の確認 *藤沢 「noka table」

2. 場所：

- 江ノ島ヨットハーバー(会議室)

3. 参加人数：

- 16艇(32名)

4. ルール講習会、資料：

- 講師：田中郁也さん
- ワールド前のルール確認を実施。
基本的な部分から、マーク回航時の注意点、英語による声かけなどを確認。
- 資料「基本のルール解説(全39ページ)」



<江ノ島ヨットハーバー内クラブハウス>



<田中さんによるルール講習会を実施>

5. 海上練習

コーチ：本吉夏樹さん *サポート：森島裕太さん

6. 海上コンディション：

- 風速：8～12m/s
- 風向：190～210°

*江の島ヨットハーバーが強風赤旗のため、全体での海上練習は中止。サポートボートをつけた状態で、希望者のみで実施。

7. 練習メンバー：

- 2395 本吉/三笥
- 2862 佐藤/村岸
- 2719 軽部/石川

8. 海上映像：

- 日本テザー協会ホームページにアップいたしました。ご確認ください。

<http://tasarijapan.org/index.php/events/practice/190-2017earlysummer-practicereport>

9. 夜のビデオ映像確認での解説点

- 各映像でのメイン、ジブのセールシェイプ、スロットルの広さについて解説。
- ブームをスターンガンネルよりも外に出さずに走れるようにセットする点。
- 2719 メインセールがガンネルの外に出る回数が多く、ブレイクしてしまっている。
セッティングしたパワー以上の強さのパフに対しては、ボートを前に出すことは出来ないのでフェザーして逃がしメインをブレイクしないようにする。もちろん、パワーダウンすればフェザーの回数を減らせる(パワーダウンが必要な状態)。
- 2862 メインのシェイプに関して、カニンガムの量、バングの量、アウトホールの引き具合に関して解説あり。前半映像は、カニンガム、バング、アウトホールに関して引く量が多く、メインのパワーが足りない状態(下半分のシェイプ)。後半、バングの量を調節し、下部分の深さを変更した結果、走りに改善点が見られた。アウトホールに関して調整する(ゆるめる)ことでさらに改善される可能性あり。
- 2395 はスピードモードとそうでないモードを帆走の中で試している。それぞれにおいて、ジブのシェイプ、スロットルの広さなど違う点について解説。
メインセールが2862 より良いシェイプ。(浅いのだがボトムにしっかりカーブが残っている)。レーキの違いでかなりバンドが変わっている。
色々なモードを試す過程でジブを出しているシーンがあるが、出し過ぎてフットが袋になっているシーンあり。注意が必要。

- 2862 に関しては、ジブのリーダーを 3 つ出し、4 つ出して、クリューボードの位置は、真ん中、下 2 を使用。風が落ちた際に調整しながら帆走。
- 2862 に関して乗艇位置をもう少し後ろにする点(バウが刺さりウェザーヘルムがかかっているシーンあり)。
2395 はスキッパークルーの体重さが大きい(スキッパーの方が重い)ため、クルー乗艇位置が 2862 より前。リーチングに関しても、2 艇の乗艇位置に違いあり。
- ダイヤモンドステイに関して、張り方を緩めた方が、パワーが増す点。
- セッティングに関して各艇、ピンを詰めた状態で出艇。

以上